

2026 年度 理事長紹介



一般社団法人 小田原青年会議所第 69 代理事長

秋元 洋平

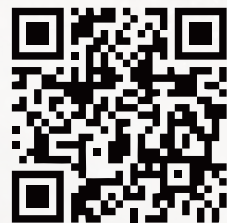
スローガン



WEB・SNS



Home page



Instagram



facebook



YouTube

賛助会員 (順不同)

道場院 / 株式会社 トープラ / 有限会社 小島商事 / 株式会社 吉澤モータース / 大田和公認会計士事務所 / 株式会社 河鹿荘 / 加藤千潮 様 / 株式会社 ヒノデ / 有限会社 まると / 株式会社 恒心 / 守屋てるひこ事務所 / 株式会社 清王サービス / 有限会社 山田会計事務所 / 鈴廣かまぼこ 株式会社 / 株式会社 小田急エージェンシー / マリン馬 / 株式会社 西電工 / 三栄管工業 株式会社 / 株式会社 丸江 / アサヒトヨー住器 株式会社 / ケイピーシー / 株式会社 ハシモト / 株式会社 山安 / 株式会社 柴田電設 / 田むら銀かつ亭 / 株式会社 菊大 / 相模洋洗 株式会社 / 株式会社 大井松田カートランド / サイバーデザイン 株式会社 / 株式会社 村山商店 / 株式会社 星崎仲吉商店 / 旭電機 株式会社 / 株式会社 マックスサービス / OZAX工業 株式会社 / 株式会社 吉池旅館 / 有限会社 成田建築 / 弁護士法人 Kアライアンス / 株式会社 ダイソー建設不動産 / 株式会社 鬼平 / 太陽建機レンタル株式会社 / 株式会社 カワセ / (株) 田代吉右衛門本店 / 合同会社 小田原かまぼこ発信隊 / 株式会社 KM ネットワークサービス / 株式会社 魚國商店 / 医療法人 成美会 高橋歯科医院 / 株式会社 古川 / 株式会社 緑農園



挑む

Annual report
2025



2025 年度 スローガン



Junior Chamber International Odawara
一般社団法人 小田原青年会議所

御礼のごあいさつ

2025 年度第 68 代理事長

室伏 寿美夫



日頃より一般社団法人小田原青年会議所の活動・運動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。公益社団法人小田原青年会議所 2025 年度第 68 代理事長を務めさせていただきました、室伏寿美夫と申します。

2025 年度の小田原青年会議所は「挑む」をスローガンに掲げ、事業・運動を展開してまいりました。地域の子どもたちを対象とした教育事業においては、多くの地元企業・商店の皆様にもご協力いただき、私たちの地域だからこそ体験することの出来る事業を実施し、まちづくり事業においては小田原市観光協会や小田原市などの皆様と連携をさせていただき、私たちの想いとこれまでの歴史を掛け合わせた、より多くの方々に地域の魅力や歴史を発信・体感する事業を開催させていただきました。また、会員一人ひとりが自らの成長に繋がる会員研修事業を実施するとともに、自己研鑽の意識を持ち、挑戦を続ける組織風土の醸成を図ってまいりました。

そして、小田原青年会議所は地域ビジョンとして掲げる「世界を感動させる観光文化都市を目指して」の実現と、より時代に即した運動を展開すべく、2025 年度末をもって、公益社団法人から一般社団法人へ法人格を移行いたしました。地域住民や関係団体などの皆様からの信頼と期待を裏切ることなく、さらに必要とされる団体を目指し、本年度も事業・運動に邁進してまいります。

2025 年度及びこれまでのご協力に会員を代表し、改めて御礼申し上げますとともに、一般社団法人小田原青年会議所に対し、変わらぬご理解と更なるご協力を賜りますことを切にお願い申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

2025 年度 役員紹介

理事長	室伏 寿美夫
直前理事長	松 賀 夏 樹
副理事長	深 堀 晃
副理事長	鈴 木 貞 重
専務理事	秋 元 洋 平
監事	原 宗 久
監事	海 野 晋 佑
理事	事務局 局長	古 澤 光 宏
理事	財政局 局長	大 平 剛 志
理事	地域連携推進室 室長	野 地 俊 葵
理事	拡大・アカデミー委員会 委員長	木 村 美 里
理事	地域の魅力推進委員会 委員長	木 村 亘
理事	地域の魅力体感教育委員会 委員長	城 戸 佐 和 子
理事	事務局 次長	川 戸 亜 紗 美
理事	財政局 次長	首 藤 い ぶ き

January
1 月例会新春祈願会・
賀詞交歓会

1 月 5 日 (日)、公益社団法人小田原青年会議所役員一同は、小田原青年会議所シニアクラブ 2025 年度会長である磯崎武志先輩とともに、2025 年度の新たな門出を迎えるにあたり、氏神様に参拝し、事業や例会をはじめとする運動の成功と会員の無病息災を祈願いたしました。また、松賀直前理事長から室伏理事長への理事長バッジ継承式も執り行われました。同日午後には、湯本富士屋ホテルにて 1 月例会「賀詞交歓会」を開催いたしました。式典では、第 68 代理事長である室伏寿美夫より理事長所信を表明し、今後の活動に向けた意気込みを述べました。年始のお忙しい中、小田原市長の加藤憲一様をはじめ、御来賓の皆様、来訪 JC、小田原 JC シニアクラブの皆様におかれましては、ご多忙にもかかわらずご列席賜り誠にありがとうございました。皆様方のご支援とご協力により、2025 年度最初の例会を無事に、かつ盛大に執り行うことができましたことを、心より感謝申し上げます。

2 月例会

February

本例会では、2024 年度神奈川ブロック協議会において各地青年会議所の支援に取り組まれた経験を持つ、相模原青年会議所の飯塚侑先輩と、平塚青年会議所の柳田浩太先輩を講師としてお招きしました。お二人には、青年会議所とはどのような団体かという根本から、活動を進める上での視点、そして会員拡大がなぜ組織の成長に不可欠なのかについて、パネルディスカッション形式でご講演いただきました。参加メンバーは、拡大の必要性を「人を集めるための活動」ではなく、「地域の未来を創造し続けるための基盤づくり」であることを再認識し、青年会議所運動の本質と向き合う機会となりました。



3月例会

March

届叶!地域の魅力発信!

～イノベーションとの共創～



本例会では、日々仕事やプライベートで地域の魅力を SNS で効果的に発信している「オダワラのさん」「湘南ゴールドエナジー CEO」「小田原市役所広報広聴室の職員」3 名をパネラーとしてお招きし、観光地であるこの地域の魅力について語っていただき、また集客や認知拡大に活用できる SNS の効果的な発信方法についても教えていただきました。その後、小田原青年会議所メンバー及び入会希望者でグループに分かれてワークショップを実施し、小田原青年会議所のアカウントの効果的な発信方法等について話し合いました。私たち小田原青年会議所では、この事業を通して Facebook 及び Instagram をより一層活用して、私たちの活動に興味を持ってもらえる発信をしていくとともに、会員の知識向上および、民間企業や自治体との連携強化を図っていきます。



4月例会

April



4 月例会は公益社団法人から一般社団法人への法人格移行のプロセスやメリット、デメリットを財政局が主体になりプレゼンし、小田原青年会議所の会員全員が長期的な運動を実施していくことを目的として開催いたしました。形式にとらわれずに自由闊達な議論を促すことで、会員一人ひとりの考えを引き出し、建設的な意見を交わす場となりました。4 月例会を契機に、より強固な組織運営へ向けて歩みを進めていく機会になりました。

5月例会

シニアクラブ合同設立記念例会

May



5 月 16 日 (金)、報徳会館にて、5 月例会を開催いたしました。本例会は、1958 年 5 月 16 日に小田原青年会議所が創立されたことを記念し、毎年、卒業生で構成されるシニアクラブの先輩方と共に開催している伝統ある例会です。本年度で小田原青年会議所は創立 67 周年を迎えました。これまでの歩みは、歴史と情熱を受け継いでこられた先輩諸兄姉の皆様のご尽力、そして多くの関係団体や地域の皆様のご支援によって築かれてきたものです。私たち現役メンバー一同、改めてその積み重ねに深い敬意と感謝の念を抱きました。当日は、先輩方から青年会議所運動に対する想いや経験を伺い、今後の活動への示唆や励ましのお言葉をいただくとともに、世代を超えた交流を深める貴重な機会となりました。本例会を通じて、小田原青年会議所の原点に立ち返り、未来へと継承していく使命を再認識する時間となりました。

June

6月例会

笑顔がつながる！
絆を深めるバスツアー

コロナ禍以降、小田原青年会議所としては久しぶりの会員交流例会の開催となりました。貸切バスにて山梨へバスツアーに向かいました。会員同士の交流を深めることにより、今後のより良い事業構築に繋がる例会となりました。また、今回は会員のご家族にも参加していただき、小田原青年会議所の活動について知っていただく良い機会になりました。



July

7月例会

おしごと探検ツアー ～まちの仕事を知る冒険～



まちの仕事を 知る!

本年度、地域の魅力体感教育委員会では、地域の子どもたちが自分たちの生活圏について深く理解し、本地域の魅力に気づき、活動地域への愛着を育んでいくことを目的として、7月例会「おしごと探検ツアー～まちの仕事を知る冒険～」を開催しました。本事業は、地域企業の皆様のご協力のもと、各企業が大切にしている理念や事業内容、社会への貢献などの内容について子どもたちが学ぶ形式で実施しました。キャンセル待ちが発生するほどの関心をいただき、多くの子どもたちにご参加いただきました。



参加した子どもたちからは「また参加したい」といった感想も多く寄せられました。本例会は、8月に実施した体験型事業「おしごと探検ツアー～わくわく職業プログラム～」への導入として位置づけ、学びと体験を段階的に結びつける構成の中の「学び」を担う内容でした。7月の学びを通じて、8月の体験に対する理解と意欲を高め、事業全体として教育的効果をより深めることができました。またご協力いただいた企業の皆様からも「社員研修としても意義ある時間になった」との喜びの声をいただきました。

サマーコンファレンス Summer Conference 2025

7月19日～20日にサマーコンファレンスが開催されました。サマーコンファレンスは一年間の最大の運動発信の場であり、これまでの運動を全国に広げるとともに、次年度への運動の躍進に繋げるために成長する機会となる場です。フォーラムやセミナーを通じて各地のさまざまな実例や実現した理想の地域モデルを実感し、未来に対して行動できる起点となりました。

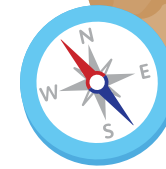


Get Your Future Theme for 2025
『変わったのではない、変えたのだと誇れる未来へ』

August

8月例会

おしごと探検ツアー ～わくわく職業プログラム～



まちの仕事を 体験!

本事業は、7月例会での「学び」を体験するプログラムとなっており、7月同様地域の子どもたちが自分たちの生活圏について深く理解し、この地域の魅力に気づき、活動地域への愛着を育んでいくことを目的として開催しました。本例会は、7月例会で学んだ内容をもとに、実際に子どもたちが地域の企業でスタッフとして働く体験を行う実践型プログラムです。地域企業や団体の皆様のご協力のもと、子どもたちは実際の業務を体験し、働くことを通じて地域社会を支える仕事を自らの体験として学びました。



子どもたちは、様々な業種である地域企業の下で、接客や製造補助・販売など体験しました。初めは緊張した様子でしたが、企業の皆様の温かい指導のおかげで、時間が経つにつれて笑顔で主体的に行動する姿が見られました。子どもと大人がそれぞれの立場から学び合う機会となり、地域全体で人を育てる意識を高めることができました。本事業を通じて、地域の子どもたちが“働く”という行為を自分ごととして捉え、地域の一員としての自覚と誇りを持つきっかけとなりました。また、企業や団体の方々にとっても、次世代との交流を通じて新たな気づきと地域貢献の意義を感じていただけました。

地域の魅力を体感し、未来を担う子どもたちの成長を支えるこの取り組みは、まちの発展と持続的な人材育成に寄与するものであり、今後も青年会議所として教育事業の必要性を感じました。



September

9月例会

「行動力で可能性を切り拓く、 リーダーシップと自己成長の秘訣」

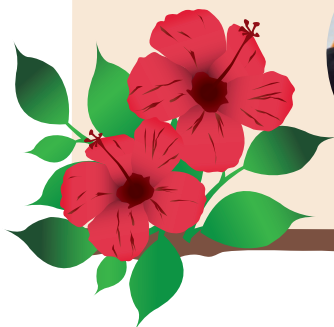
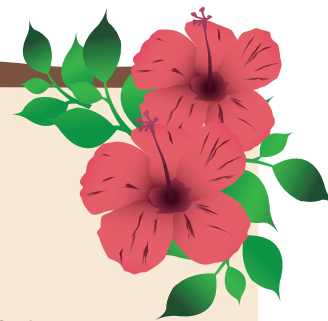


9月16日(火)、報徳会館にて、9月例会を開催いたしました。本例会では、SNS 総フォロワー数4万人超え、年商164億円企業を築上げた実業家・渋谷巧氏を講師としてお招きし、「青年会議所を活用したリーダーシップと自己成長術」をテーマにご講演いただきました。講演は参加者体感型のプログラムとして構成され、リアルタイムで質問を募集し、質疑応答を交えながら進行的ことで、参加者一人ひとりが自身の課題に照らしながら学びを深められる例会となりました。

October
10月例会

文化と心をつなぐ交流 ～ハワイと日本の友情と挑戦～

本年度、41年にわたり継続しているホノルル日系人青年会議所(HJJCC)との交流をさらに深化させ、地域文化の魅力を通じて、相互理解を深めることを目的として、10月例会を開催しました。10月6日から8日にかけて、HJJCCの皆様を小田原・箱根・真鶴・湯河原へお迎えし、地域に根づく文化を共に体験し語り合う時間を過ごしたことで、お互いの絆がさらに深まったことを実感できました。



北條氏ゆかりの 戦国武将サミット (一夜城まつり)

November

11月例会



11月2日(日)に石垣山一夜城跡地にて「一夜城まつり」を開催し11月3日(月)、小田原城址公園二の丸広場にて、11月例会「北條氏ゆかりの戦国武将サミット」を開催いたしました。本事業は、小田原の歴史文化を広く発信し、地域の観光活性化を促進することを目的として実施し、戦国武将御子孫12名による大河ドラマ誘致における功罪などのトークライブや北條甲冑隊や忍者パフォーマンスや戦国ナゾトキ体験、忍者体験が好評を博しこの地域の歴史や文化の魅力を改めて知る貴重な機会となりました。

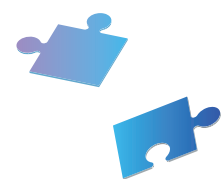


また、戦国武将なべや戦国武将ゆかりの日本酒飲み比べをはじめ、キッチンカーや屋台も加わり、多くの来場者に満足していただくことができました。今後も、小田原青年会議所は地域の歴史と文化の発信を続け、さらなる発展を目指して活動を展開していきます。

December

12月例会

卒業生を送る会



2025 年度 卒業生

奥津 雄介 / 原 宗久 / 深堀 晃 / 城戸 佐和子 / 清水 真菜 / 古屋 聖司 / 十二村 翔伊 /
中川 大輔 / 小澤 賢



12月5日(金)、万葉の湯にて12月例会「卒業生を送る会」を開催いたしました。青年会議所は20歳から40歳までの会員で構成されており、12月末で40歳を迎える会員は卒業となります。本例会は、これまで小田原青年会議所を支え、牽引してくださった卒業生へ感謝の想いを込めて門出を祝う場として設えたものです。本年度は9名の卒業生を送り出しました。卒業生のこれまでの功績を称えとともに、敬意と感謝の気持ちをもって卒業をお祝いしました。当日は卒業生一人ひとりがスピーチを行い、青年会議所活動を通じて得た経験や学び、後輩へ託す思いなど、熱いメッセージが語られました。卒業生と現役メンバーが想いを共有し、歩んできた日々を振り返る温かな時間となり、参加者にとって忘れられない思い出深い例会となりました。



1年間の活動を讃える褒賞を12月例会当日に発表させていただきました。



理事長特別賞
■ 事務局



優秀委員会賞
■ 地域の魅力推進委員会



功労賞
原 宗久



功労賞
深堀 晃



優秀 Jaycee 賞
麻生 知宏



最優秀新人賞
湯口 俊太郎



最優秀新人賞
平谷 琉雅

諸大会・出向



大会への参加や日本青年会議所への出向は、日常では味わえない圧倒的なスケール感を体感させてくれます。この高揚感を共有することで、メンバー間の結束はより強固なものとなりました。現地でしか得られない「空気感」に触れることは、次なる運動への情熱を燃やす最高の機会となりました。